

ラダー評価表 ラダーF-2

氏名

評価日 年 月 日

4: 現ラダー以上ことができる 3: 自立して出来る 2: 助言があればできる 1: 到達までには課題がある

| レベルIの定義 | | 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|--|---|---|--|---------|---|------|--|---------|
| 項目 | 【レベル毎の目標】 | 【行動目標】 | 実際例 | 成果と評価できる行動 | 自己評価 | | | 他者評価 | | |
| | | | | | / | / | / | | | |
| ニーズをとらえる力 | ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる | □自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる | 自立して入院時から診療記録上の情報を確認し、患者の訴えや観察をもとに身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集をする。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 身体的側面については、自立して、患者の状態に合わせてバイタルサイン等の観察をし、フィジカルアセスメントを行う。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 診療記録など決められた枠組みに沿った内容について、多職種から情報収集を行う。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | □得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像として課題をとらえることができる | 自立して患者と関わり、情報収集をもとに、顕在化している精神的側面から患者の課題をとらえる。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 基本的なフィジカルアセスメントができる | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 自立して患者と関わり、情報収集をもとに、顕在化しているスピリチュアルな側面から患者の課題をとらえる。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | スピリチュアルな側面については、本人・家族の治療についての考え方等の情報を得る。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | 患者の状況から緊急度をとらえることができる | 4 3 2 1 | | | | | | | |
| | | ケアする力 | ケアの受け手状況（場）に応じた看護を実践する | □ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる | 患者の既往歴、年齢、性別、社会的役割などを考慮して、標準的な看護計画が実践できる | 4 3 2 1 | | | | |
| | | | | | 標準的な看護計画を患者の個性に合わせて追加・変更し、自立してケアが実践できる。 | 4 3 2 1 | | | | |
| 患者に対して基本的な生活行動の援助を行う。 | 4 3 2 1 | | | | | | | | | |
| □ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる | 患者に対してケアを実践する際に必要な情報を得て、状況に応じた援助を実践できる。 | | | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | □ケアの受け手の状況に応じた援助ができる | | | 重症患者や医療依存度の高い患者については、指導を受けて実践する。 | | | | | | 4 3 2 1 |
| | | | | 患者に対して指導をする場合、一般的な内容について、網羅して説明することができる。 | | | | | | 4 3 2 1 |
| | | | | 急変時には、対応の場において、流れを把握しようとする行動が取れる | | | | | | 4 3 2 1 |
| 急変時には、指示されたケアを責任をもって実践できる | | | | 4 3 2 1 | | | | | | |
| 協働する力 | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる | | | □ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる | 自らのもつ情報をカンファレンスで述べるができる。 | 4 3 2 1 | | | | |
| | | | | | カンファレンスに参加し、関係者がもつ情報を共有することができる。 | 4 3 2 1 | | | | |
| | | □関係者と密にコミュニケーションを取ることができる | 看護チームの一員であることを理解できる | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 日々の患者へのケアを、他の看護師と協働して行う。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | □看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる | 多職種(医師、看護師、専門・認定看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、ケースワーカー、緩和ケアチーム、NSTチームなど)の役割を理解する。 | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 常に自らのもつ情報を他の看護師に連絡できる | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 患者の状態について報告できる | 4 3 2 1 | | | | | | |
| | | | 判断できないことや経験のない処置やケアについて相談できる | 4 3 2 1 | | | | | | |

